

令和7年度

おがった、えがった ゆざわの子育てマルっと紹介



湯沢市福祉保健部子ども未来課
(こども家庭センター)



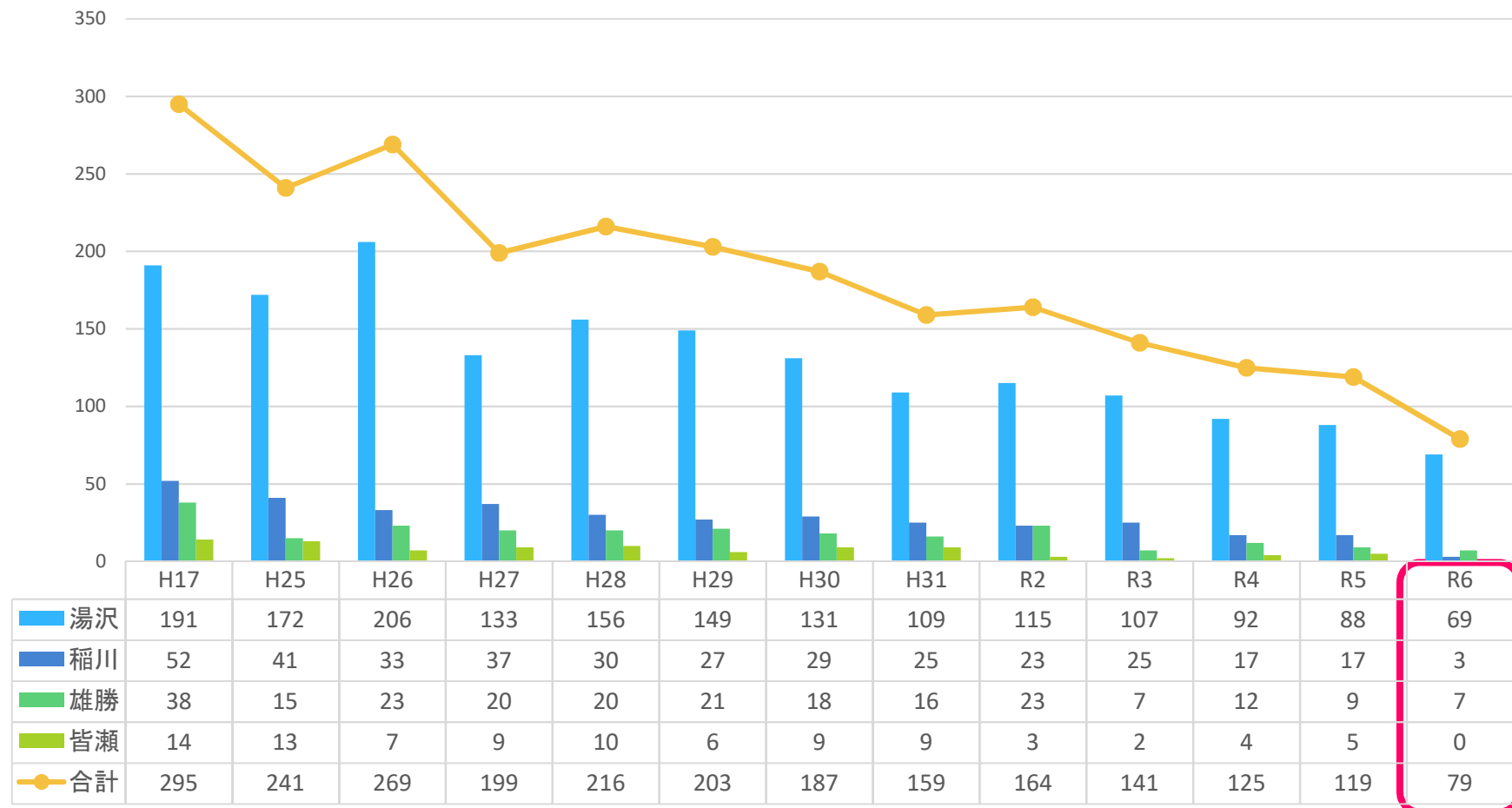
目 次

1. 湯沢市の子どもたちの状況

2. 湯沢市の子育て支援について

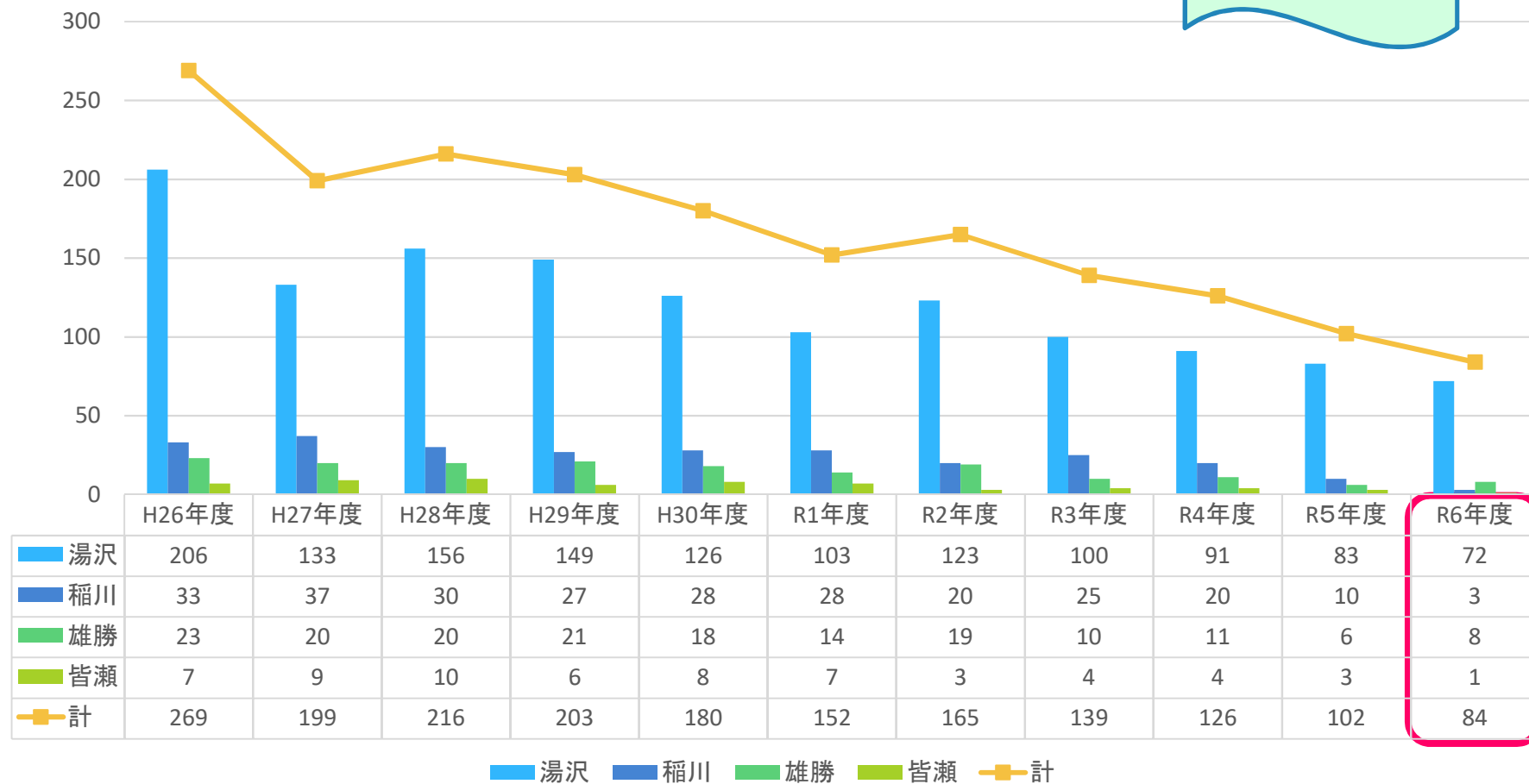
- 子ども未来課（こども家庭センター）の体制
- 各種子育て支援施策

湯沢市の年間出生数 (H17~R6)



湯沢市の年度別出生数 (H26~R6)

同級生の数



湯沢市の合計特殊出生率 (H28~R6)

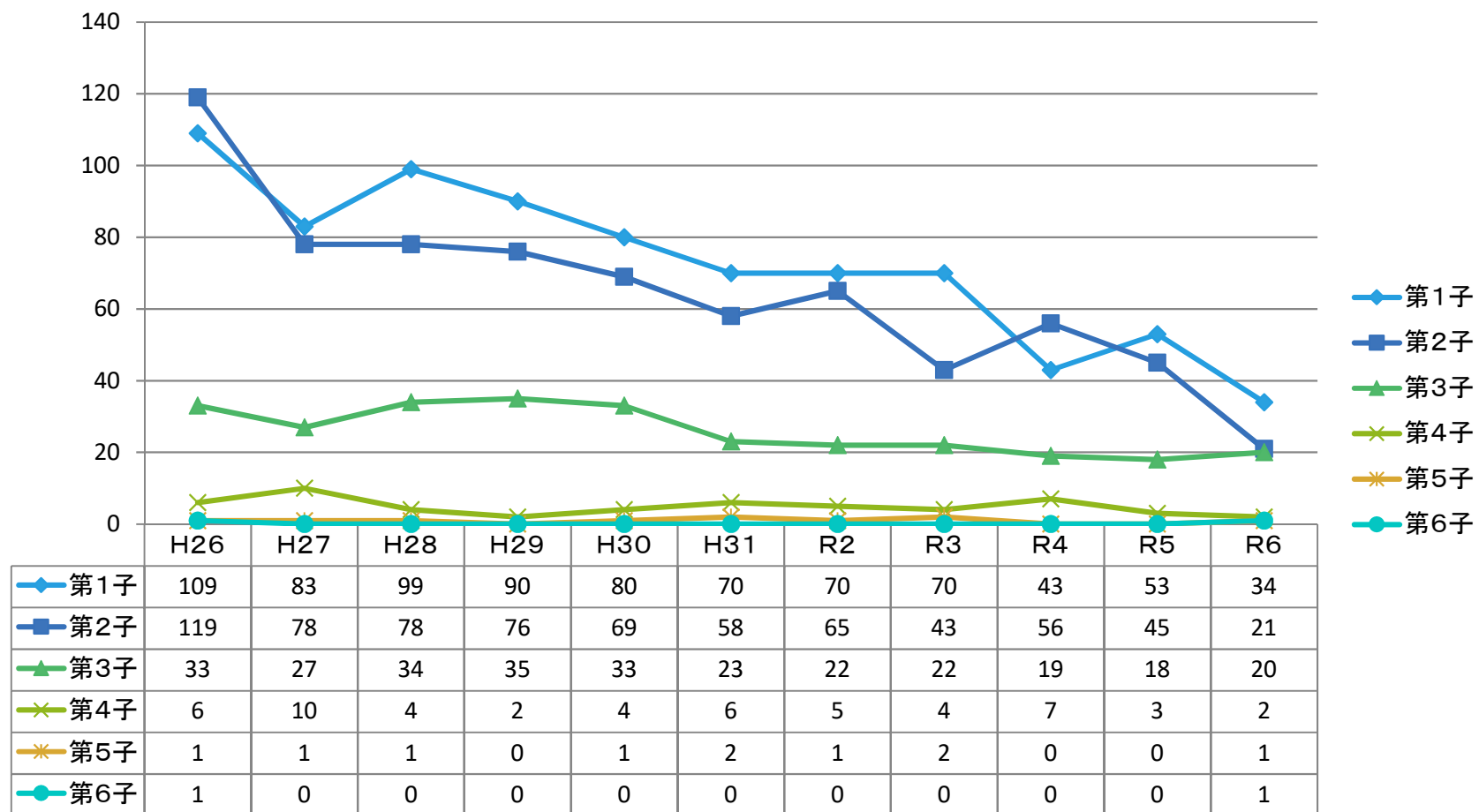
(子ども未来課調べ)

合計特殊出生率とは・・・

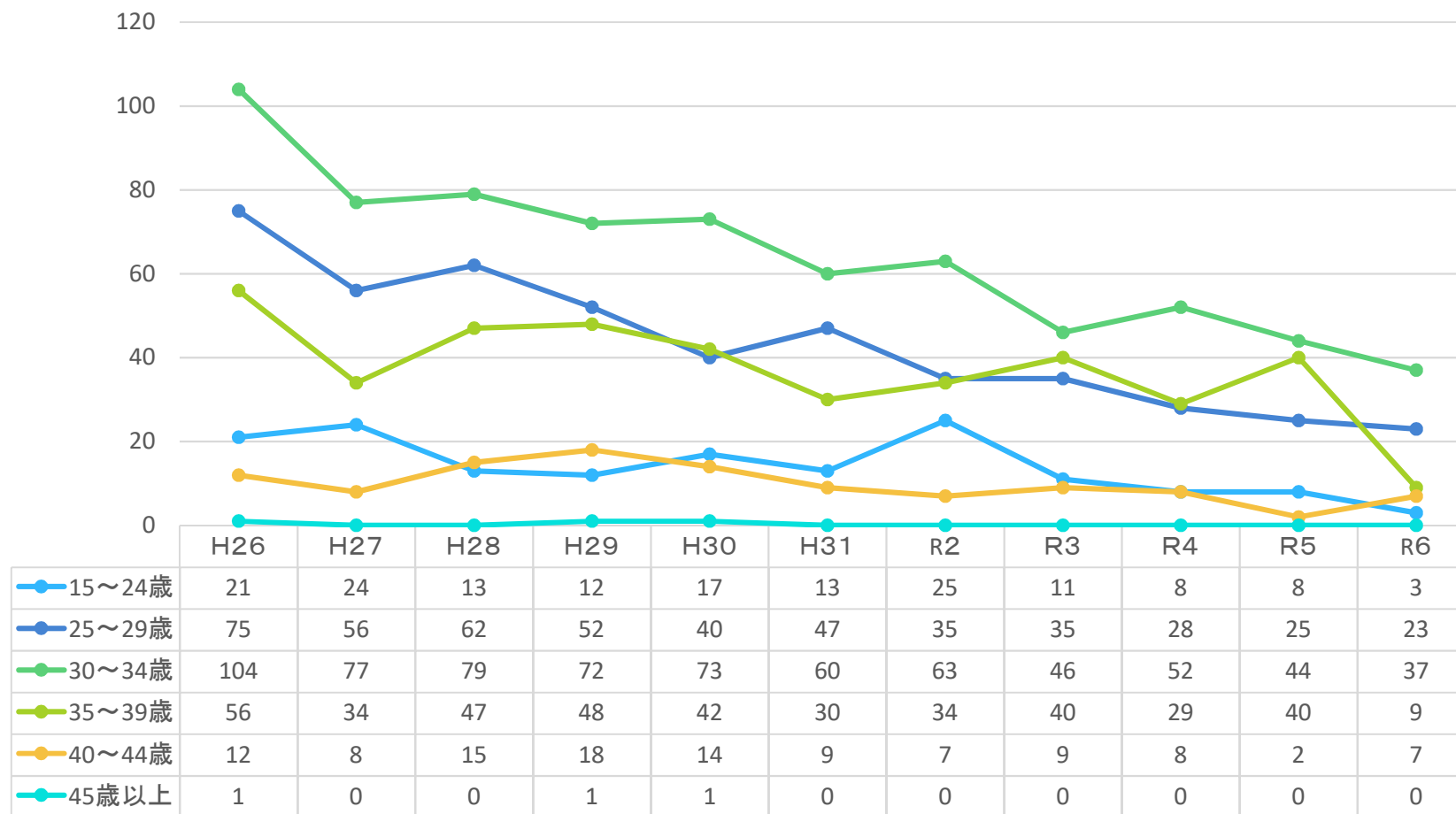
15歳から49歳までの女性が一人当たり何人出産するかを計算したもの

年	湯沢市	秋田県	国
H28	1.21	1.39	1.45
H29	1.16	1.35	1.43
H30	1.16	1.33	1.42
H31	1.04	1.33	1.36
R2	1.16	1.24	1.33
R3	1.01	1.22	1.30
R4	0.97	1.18	1.26
R5	0.95	1.10	1.20
R6	0.68	1.04	1.15

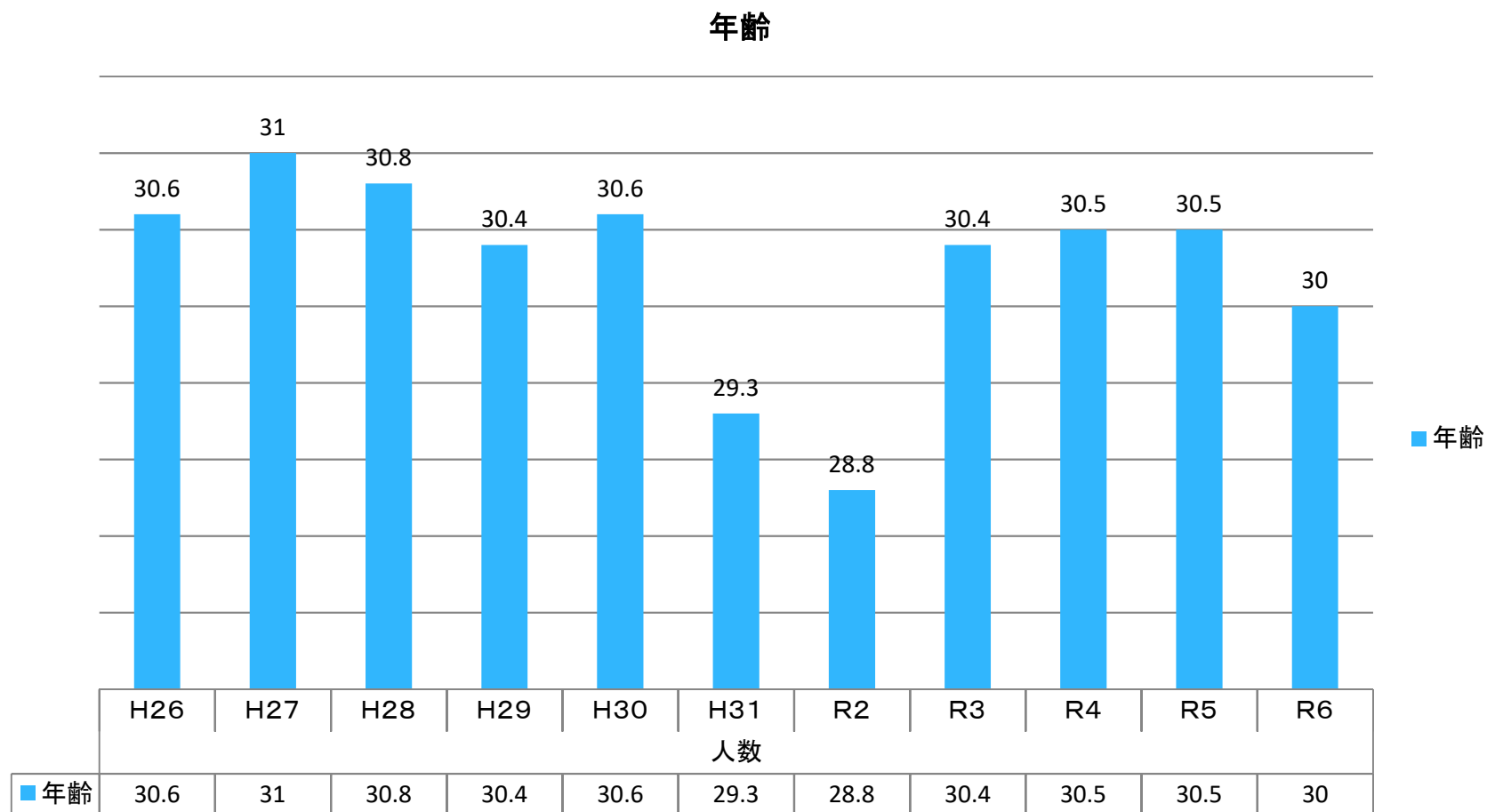
出産人数 (H26~R6)



年代別出生数 (H26~R6)



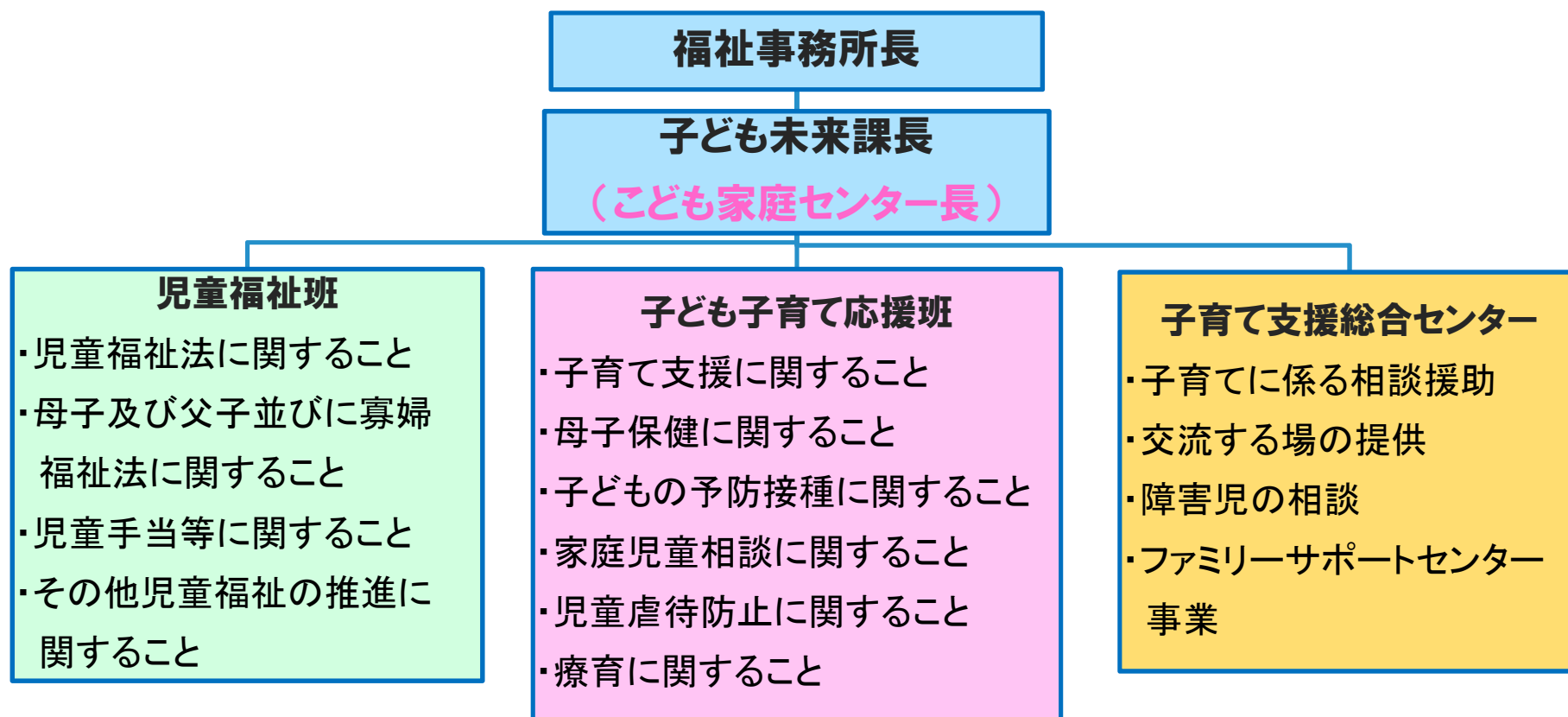
第1子出生時の母の平均年代 (H26~R6)



湯沢市の子育て支援

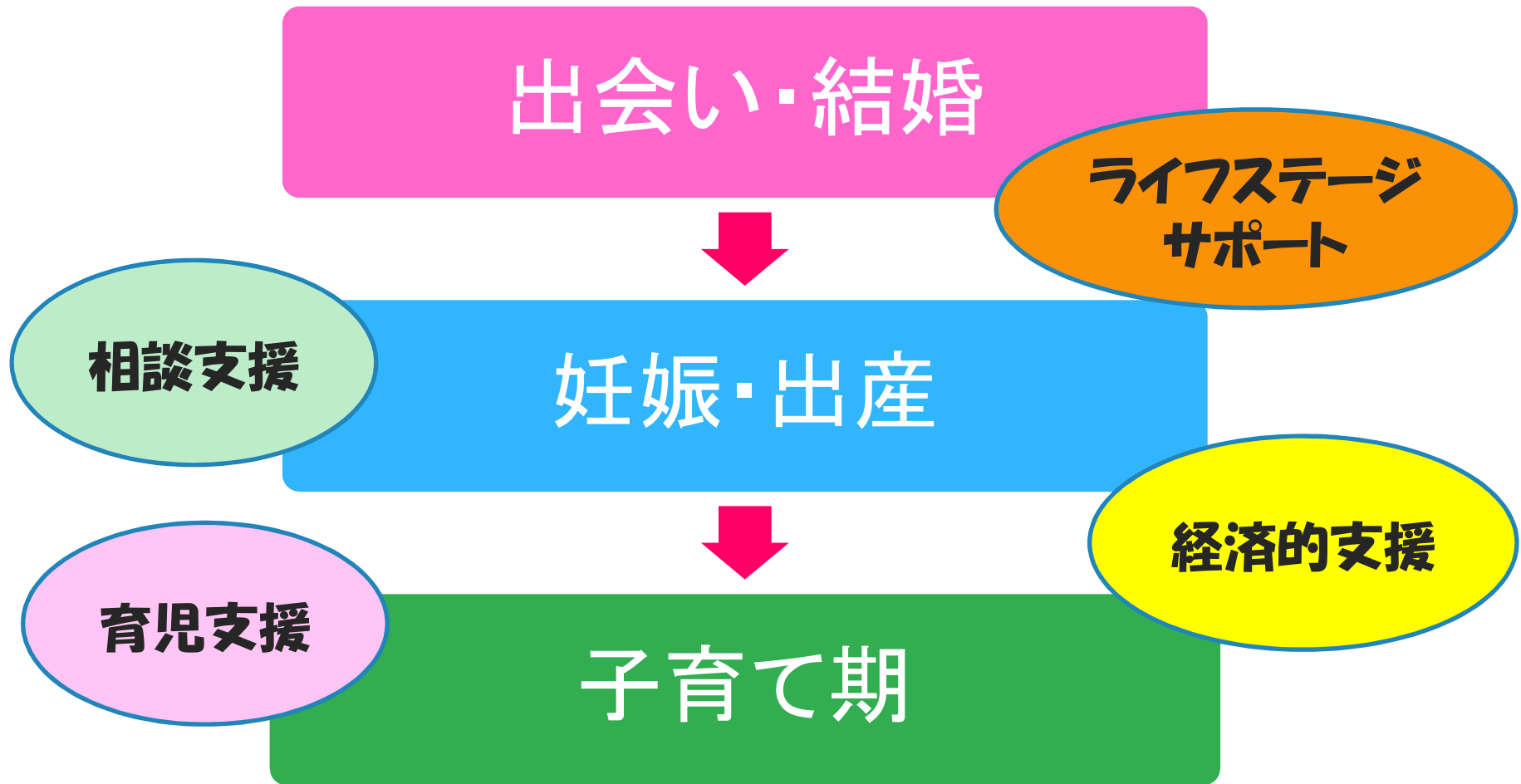


子ども未来課(こども家庭センター)の体制



湯沢市の子育て支援

～ライフステージ別～



湯沢市の子育て支援 ～出会い・結婚～

❀ 経済的支援

風疹ワクチン任意予防接種費用助成
おたふくかぜ任意予防接種費用助成
不妊症・不育症治療費助成



不妊治療費の全額助成で ほぼ自己負担なしに！

- ❁ 令和4年度から保険適用となった不妊治療に、市はさらに追加支援を実施します



治療にかかる費用を全額助成！

- ・ 特定不妊治療は一連の治療1回につき15万円を上限に全額助成
- ・ 一般不妊治療は年間15万円上限に全額助成

経済的負担を感じることなく不妊治療を受けることができるようになりました。



湯沢市の子育て支援 ～出産・子育て期～

❀ 経済的支援

- ・妊婦に一律5万円給付

さらに産後は

妊娠した子の数×5万円給付

- ・里帰りでの妊産婦健診費を助成

- ・未熟児養育医療費を無料に

他



湯沢市の子育て支援 ～妊娠・出産・子育て期～

❁ 育児支援・相談

重層的支援体制整備事業

(こども家庭センター事業)

すべての妊産婦、子育て家庭および子どもを対象として、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行う。妊娠初期から子育て期にわたり妊産婦・乳幼児の状況を継続的・包括的に把握し、育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するとともに、必要な支援の調整や関係機関との連絡調整を行う切れ目ない支援体制を構築。

**こども家庭センターの保健師や家庭相談員が
子育てに関する相談、なんでもお受けします。**

こども家庭センターでの相談

母子手帳交付時の時間をかけた丁寧な面接で
妊婦一人一人の状況を確認し、個々に応じた支援を
行っている。

課題の多様化・複合化・複雑化

未婚
若年

育児不安

精神疾患

被虐待者

核家族
支援者不足

望まない妊娠
DV被害

外国人

湯沢市こども家庭センターの事業 ～母子保健分野～

❁ 育児支援・相談

- ・妊産婦健診・新生児聴覚検査
- ・フレパママ講座
- ・産前産後サポート事業
- ・産後ケア事業(宿泊型、日帰り型、訪問型)
- ・乳児全戸訪問事業・養育支援訪問
- ・乳幼児健診
- ・予防接種
- ・離乳食教室



湯沢市の子育て支援 ～妊娠・出産・子育て期～

❀ 育児支援・相談

子育て世帯家事支援事業

家事、食事等の生活環境に不安や負担を抱えた子育て家庭
に対して、相談や家事等を提供するヘルパーを派遣

①妊婦及び出生後1年以内の子どもの養育者
子どもが1歳に達するまで12回利用可能

②家事・育児等に対して強い不安や負担を抱えた子育て中の家庭
初回利用から3か月までの間、原則週2回まで
※いずれも1回90分まで(自己負担なし)



湯沢市の子育て支援 ～妊娠・出産・子育て期～

❁療育サポート事業

・親子教室(業務委託)

療育に関する専門的な知識を活かし、子どもの心身の健やかな成長と発達を促す

・湯沢市雄勝郡すぎの子会への支援

心身の発達に障がいがあるお子さんの保護者で構成されている保護者会に対し、保護者同士の悩みや不安の共有・情報交換等できるよう地域の療育関係者と連携してサポートする

❁子ども・家庭相談

・ペアレントトレーニング

親子の関係性や発達に応じた子どもとの関わりかたを学ぶ
健全な親子関係の形成を支援



NEW!

湯沢市の子育て支援 ～妊娠・出産・子育て期～



❁令和7年度の新規事業(11月を予定)

母子手帳アプリ「**母子モ**」の導入

母子モの便利機能

- ・予防接種のスケジュール機能により「接種忘れ」の防止
- ・予診票をアプリで提出。紙に記入するわずらわしさの解消。
- ・子供の成長記録の管理
- ・子育て施設や医療機関、遊び場などの検索 など

便利なツールで子育てがしやすく！



湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

重層的支援体制整備事業 地域子育て支援拠点事業

- 子育て支援総合センター すこやか
- 稲川子育て支援センター
- おがち子育て支援センター

1. 子育て親子が交流する場所、遊び場
2. 子育てに関する相談
3. 子育て関連の情報発信
4. 子育てサークル支援

地域づくりの場



子育て支援総合センターすこやか広場

センター内にあるすこやか広場は、未就学児と保護者が一緒に自由に遊べる広場があり、育児に関する相談や子育てに関する情報を提供。

・開所時間: 8:30～17:00 ・休所日: 祝日、年末年始

○広場でのイベント開催

(げんきっこクラブ、読み聞かせ、すくすく成長記録日、ママと天使の交流会、季節ごとの製作活動等)

○育児相談

○サークル支援

○チャイルドシート無料貸出

○街の保育園、いのちの大切さ

R5～日曜日開所



● ゆざわの子育てマルっと応援DAY

子育て世代を応援するイベント！！

・日時：9月28日（日）9：30～

- ・木のおもちゃ ・制作
- ・園情報の展示、読み聞かせ
- ・赤ちゃん広場

年齢に合わせた遊び場で
みんなで交流！

- ・くるくるリサイクル 子ども服の無料リサイクル市
ご家庭で眠っている子ども服を集めて、リサイクル市を開催

子育て世帯の経済的負担を軽減！



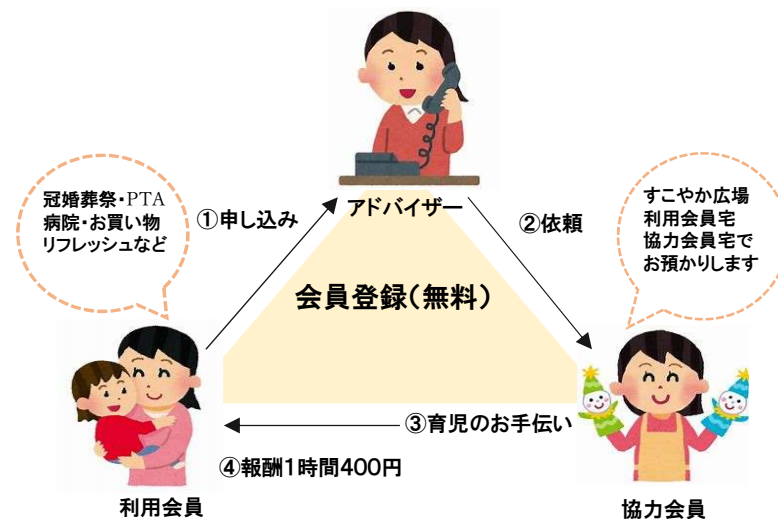
ファミリーサポートセンター事業

「子育てを手伝ってほしい(利用会員)」と、「子育てのお手伝いをしたい人(協力会員)」がお互い会員になって、子育て家庭を地域で支えあうシステムです。

保護者の急用や通院、育児疲れなどで子どもを預かってほしいときに地域の方が応えてくれます。

ファミリー・サポート・センターのしくみ

- 利用時間: 7:00~22:00
(広場での預かり: 8:30~17:00)
- 利用料金: 1時間500円
- 対象年齢: 生後3ヶ月~小学生



子育てシェアリング事業



「ちょっと子どもを預かってほしい」「急用が入って子どもを迎えに行けない…」「日曜日だからファミサポにも連絡できない」… そんなときは子育てシェアで悩みを解消しませんか。

湯沢市と「子育て支援の連携協力に関する協定」を締結している横浜市の(株)AsMama(アズママ)のサービスは、スマホなどインターネットを通じて、顔見知り子どもを預けるシステムを作っています。これは、「ご近所の頼り合い」現代版のイメージです。

保育園・こども園での友達同士、スポ少仲間、また地域交流会に参加して友達を作り、子育てを助け合いましょう。



湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

❀経済的支援

・保育所・認定こども園(令和7年9月から)

・保育料の完全無償化

保護者の所得や子どもの年齢などにかかわらずすべての
子どもの保育料を完全無償化(湯沢市上乗せ助成)

・副食費の無償化・・・(3歳から5歳まで)

すべての子どもの副食費を無償化(湯沢市上乗せ助成)

※令和7年8月以前から実施してます

湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

❀経済的支援

・保育所・認定こども園(令和7年8月まで)

・0～2歳児の保育料助成(令和5年4月から)

第2子以降の子どもの保育料を保護者の所得にかかわらず無償化(湯沢市上乘せ助成)

・ひとり親世帯の保育料助成

ひとり親世帯の子どもの保育料を無償化
(湯沢市上乘せ助成)

湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

❁経済的支援

・児童手当の拡充(令和6年10月分から)

- ・支給対象を「中学生まで」から「高校生年代まで」へ
- ・所得制限を「あり」から「なし」へ
- ・第3子以降の手当月額を「10,000～15,000円」から「30,000円」へ
- ・支給日を「年3回(2.6.10月)」から「年6回(偶数月)」へ
- ・第3子の算定対象を「高校生年代まで」から「大学生年代まで」へ

湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

❀ 育児支援

- ・ 一時預かり
- ・ 延長保育
- ・ 休日保育
- ・ 病児保育（体調不良児対応型・病児対応型・病後児対応型）
- ・ 放課後児童クラブ

利用料無償・・・（但しおやつ代、教材費実費負担有り） 令和4年度から午前7時30分開所



湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

❖ 育児支援 湯沢市独自の支援

- ・ **障がい児保育事業**

支援が必要な児童に対して、手厚い保育を提供しています。

- ・ **特定教育・保育施設地域活動事業**

地域や世代間交流を深め、地域全体で子育てを応援しています。



湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

❖ 育児支援

病児保育室「はぐくみ」(雄勝中央病院6階に設置)

仕事などの都合により、自宅で保育することができない病気やけがのお子さまを、専任の看護師と保育士が一時的に預かる制度



湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

❁ 育児支援

病児保育室「はぐくみ」

- 午前8時30分から午後6時まで
- 保護者がWebから登録予約
- 1日あたり6名まで受入
- 利用料金は1日1,500円（市外在住2,000円）



湯沢市の子育て支援 ～子育て期～

R6から
県内初実施

❁ 育児支援

乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

保護者の方の就労要件を問わず、どなたでも気軽に保育所等を利用することができます。

- 対象は、保育園、認定こども園等を利用していない
0歳6か月から2歳までの子ども
- 利用料金は1時間200円、1食300円

湯沢市こども計画

令和7年
3月策定

計画期間

令和7年度から令和11年度まで

基本理念

自然豊かな湯沢の地で、次世代を担う子どもたちが夢と希望をもち、将来にわたり健やかに成長できるよう、地域全体で育みます

主な取り組み事項

- ①出生前後から未就学児、小学生、中学生、高校生、さらには若者世代までを対象とし、ライフステージに応じて関係機関が連携して切れ目なくサポートします。
- ②「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、企業や市民の皆様とともに、地域全体で子どもや若者を応援するまちづくりを進めます。
- ③意見が届きにくい子どもや若者の声を大切にし、発言の場や直接意見を伺う機会を増やします。

ゆざわの子育てまるっと応援！

次世代を担う子どもたちの健やかな成長を
全力で応援します！！

